

南の風

No.35



令和2年9月1日

〒851-0245 TEL095-836-0085

長崎市千々町513番地

長崎市立南小中学校長

岡田 政宏

学校教育目標

自ら学び鍛え、励まし合う、心豊かな児童・生徒の育成

新たな学習スタイルに備えて コンピュータ一人一台時代すぐそこ

7月に長崎県内初となる、新端末によるクラウド型学習の研修会を開催しました。講師は、長崎県教育センターの指導主事、長崎新聞の取材を受けました。(裏面参照)

長崎市は、新型コロナウイルス感染拡大を受け、数年先が目標だったGIGAスクール構想(コンピュータ一人一台)を一気に年度内導入へと前倒しすることとなりました。対象学年は、小学四年生から中学三年生。(小学三年生以下は令和三年度以降)導入時期は早ければ年内、導入される端末は、Chromebook(クロームブック)です。ウィンドウズでもマックでもないこの端末の最大の特徴は、ソフトを基本的にインストールせず、インターネット上のクラウドでソフトを使い、データもそこに保存するというもの。コンピュータ本体にデータがないので、記録するための



先行導入した Chromebook

装置を準備する必要がなく、複数人で同時に同じファイル編集することができます。例えば、壁新聞を作るとき、大きな模造紙に全員で書いていたものが、これからは、クラウド上のファイルで共同編集することができるようになります。また、本校が先行して取り組んだオンライン学習などもより取り組みやすくなります。担任が玄関先まで届けていたプリントも、クラウド内の教室を通じて瞬時に配付できるほか、課題の提出も居ながらにできます。

2学期の「自ら」 テーマは

本日の始業式で、二学期に意識してもらいたいことについて子どもに話しました。テーマは「自ら」です。本通信にも毎月掲載している学校教育目標も、この「自ら」で始まります。二学期は、一年間の中で最も長い学期であり、心と体を鍛え、学習を充実させるとき、進んで考え、行動する姿を大いに期待しています。

平和を考える日

8月9日の登校日、平和集会を実施しました。

小学生は、原爆の被害記録を後世に残すために尽力した永井隆博士の学習を通して学んだ平和の大切さを発表しました。併せて夢を持つことで未来を創る決意をしました。【小学生の発表内容は裏面に掲載しています】

中学生は、二人で作った「平和のメッセージ」制作に込めた願いを発表し、作品を披露しました。(写真参照)

私は、あえてこの日に「原爆の地上戦」の話をし、「原爆同様、日本中で悲しい出来事があったこと、世界中で多くの犠牲者が出たこ



平和の「メッセージ」

9月の主な行事

- 13日 運動会(全)
- 14日 振替休日(運動会延期時は弁当持参)
- 15日 京都フィルコンサート(全)
- 18日 道徳「命」をテーマとした授業参観(全)
- 20日 運動会予備日(23日が振替日)
- 25日 科学館・原爆資料館見学(小5・6)
- 28日 イーネットキャラバン講演会(子・保護者)



ケセラセラ

「やられたらやり返す。倍返しだ。」この名セリフで一世を風靡した金融業界を描くテレビドラマ『半沢直樹』の続編が話題となつています。主演は堺雅人さん。私の日曜日の夜の楽しみです。人気の秘訣はいくつかあると思いますが、まずは作品を買って心に正義があるということ。水戸黄門やアンパンマンがこの典型でしょう。『スカッとジャパン』という番組の再現ドラマもそうです。次にあげられるのが濃い出演者の演技です。歌舞伎俳優も多数出演していることもあり、顔芸がすごい。(距離が近すぎて飛沫感染が気になるのは、私だけでしょうか。笑)そして、毎回後半の巻き返し場面で流れ、気持ちを高揚させる音楽です。『江戸世界遺産』のメインテーマでおなじみの服部隆之さんが手がけています。この場面での音楽。常道パターンが安心感をもたらします。半沢ネタは、次回につづく...



パソコン端末導入に向け研修会

長崎・南小中で県内初

変わる学び 現場も対応

県教育センターは政府が推進する児童生徒に一人一台のパソコン端末を整備するGIGAスクール構想の導入に向けて準備を進めており、今月下旬、長崎市南小中々町で県内初となる研修会を開いた。岡田政宏校長は新型コロナウイルスの影響もある中で、今後は学びのやり方が変わる、学校側も対応しないといけない」と語る。

同構想は、インターネット下のクラウドシステムを活用し児童生徒と学校を繋ぎ、新しい学習環境をつくること。遠隔学習も構想する。情報共有の効率化などが期待されるが、児童生徒の多様性に合わせて教育を目指す。21日に実施された研修会は市立南小中の職員約10人が参加し、タブレットが接続している無料サービスClassroomなどの使い方を学習。共有アカウントにログイン、クラウドで管理された課題やテストやドリル作成のデモンストラーションなどに取り組んだ。50代男性教員は「実際に子どもをやってみるとイメージが違った。同構想は当初2020年度までに全国で一人一台のパソコン端末を配備する予定だったが新型コロナウイルスの影響で計画が前倒し。政府が4月に緊急経済対策として予算計上、県内各自治体でも対応が進んでいる。県教育センターは新しい学習方法のため先生側も「どう使えばいい」という不安が大きい。新型コロナウイルスの影響で、学校が柔軟な対応を取れるよう速やかに準備することが重要」と語る。

市立南小中は今後、夏休



本校での実施された研修会に参加する市立南小中

◇新しいパソコン端末導入に対応するため、本校で実施した研修会のような紹介する新聞記事(長崎新聞社)

平和集会での発表(小学生)

今年、長崎市に原爆が落とされて75年目です。僕たちは、原爆でなくなった二人(の人物)について学習しました。そして、亡くなった方々のためにキャンドルを作りました。今日は、平和学習やキャンドル作りで学んだり考えたりしたこと、それをここにこれからどんな大人になりたいかということについて発表します。

まず、学習した一人目は、永井隆博士です。永井博士は、放射線科の医者でしたが、自分も白血病の病気にかかりました。その後被爆し、ねたきりの体で放射線の病気について研究しました。そして本を書き、多くの人々に勇気と希望を与えました。

ぼくは、永井博士は、病気でねたきりなのに、自分のことを後回しにして、科学者として、これからの人々のために研究を続けていて、すごいなと思います。(ぼく)私も永井博士について学習し、永井博士のように、他人を優先して考えられるようになりたいと思います。(えみり)

学習したもう一人は、林かよこさんという、原爆のため16歳で亡くなった高校生です。かよこさんのお母さんは、かよこさんが通っていた城山小学校に桜の苗を贈りました。その桜は、「かよこ桜」と呼ばれ、今もみんなに平和の大切さを伝えていきます。かよこさんの将来の夢は、「学校の先生になること」でした。かよこさんは将来の夢がかなえられなくて、かわいそうで、悲しくなりました。

ぼくたちは、平和キャンドルを小学生全員で作りました。ロウを固めるために3秒ごとに回したり、水の中で冷やしたりして、作り上げました。キャンドルは、亡くなった方々が幸せでありますようにという願いをこめて、8月8日に平和公園にももされました。ぼくは、永井博士やかよこさんの気持ちを考えて作りました。(ぼく)私は、永井博士のためにきれいにキャンドルを作りました。そしてかよこさんのために桜をかきました。(えみり)私は、町の人みんながいつまでも楽しく過ごせるように、平和でいてほしいと思って、絵をかきました。(ぼく)ぼくは、みんなが仲良くなれるようにと思っています。たくさん言葉をかきました。(ぼく)ぼくは、長崎が永遠に平和で明るい町になってほしいと思っています。(えみり)原爆が落とされたとき、75年間生き物は住めないだろうと言われたそうです。(えみり)永井博士は、原爆が落ちて一か月後に、焼け野原の原爆中心地の近くに家を建てて研究したそうです。今の長崎がこんなにきれいなのは、永井博士やたくさんの人たちのおかげだと思います。(ぼく)



10人一人一人が堂々と発表できました。

ぼくたちは、平和で、みんなが仲良く生活してほしいです。(ぼく)ぼくは、大きくなって昆虫博士になりたいです。昆虫の図鑑を作って、みんなに昆虫のおもしろいことを教えてあげたいです。(えみり)ぼくの夢は、車屋さんになることです。車を修理して、お客さんに喜んでもらいたいです。そして家族といっしょになか良く暮らしたいです。(ぼく)私は、大きくなって、犬や猫の保護活動をしたいです。平和学習で学んだ永井博士やかよこさんのお母さんのように、あきらめずがんばりたいです。(えみり)ぼくは、大人になって、おじいさんやお父さんがしている農家を継ぎたいです。ぼくは、長崎市を作る一人としてがんばっていきたいです。(えみり)ぼくの夢は、消防士です。ぼくは、みんなのために町を守っていきたいと思っています。(えみり)ぼくは将来おじいちゃんの後を継いで、自動車の整備をしたいです。そしてぼくは、世界で戦争が起これば、長崎のようにならないために止めたいです。(ぼく)